

令和7年度 第8回美里地域会議 会議録

日 時：令和7年11月13日（木）19時～20時00分

場 所：美里交流館 多目的ホール

出席者：＜地域会議委員＞青木 徹、大坪 道助、岡本 渉、北村 猛志、小林 健一、
小林 忠雄、清水 幸男、鈴木 智映子、中島 康隆、
野村 耕一、濱野 敏子、松村 洋、丸石 敏憲、
望月 英光、森口 美代子、山本 由和、吉本 勝、
佐藤 弘、柘植 英司

（欠席）豊田 博久

＜高橋支所＞ 前田支所長、出口副支所長、河野主査

＜（株）サーベイリサーチセンター＞杉田 純一、佐藤 花純

＜内容＞

1 豊田市民の誓いの唱和

2 会長挨拶

3 高齢者実態調査 アンケート調査結果説明

令和7年9月に実施したアンケート調査について、株式会社サーベイリサーチセンターが作成した調査結果報告書を委員へ配布し、同社より報告書の内容について説明があった。

4 高齢者実態調査 ヒアリング事前質問検討

アンケート調査結果報告書を基に事務局が作成したヒアリング事前質問票（案）について、委員へ説明を行った。今回の会議で質問票の内容を確定し、11月14日（金）にヒアリング対象者へ質問票を含む案内文書を送付する旨を説明した。

協議の結果、事務局が選定した質問はそのままとし、回答例を分かりやすく修正することで質問票を確定した。

また、質問票に記載された内容以外にも、当日にヒアリング参加者へ聞きたい事項について意見が出された。

【意見】対象団体ごとに質問票の内容を変更したらどうか。

（事務局）今回の協議で対象団体ごとに質問票を分けることになった場合、事務局で資料を作成する。

【意見】身体的な不安から消極的になっているという回答が多く見られる。今回のヒアリング対象者は元気に活動されている方々であるため、身体的理由で地域活動に消極的な方の意見を聞き出すことは難しいと感じる。

高齢者クラブなどから「参加してもらえない人がいる」、「なかなか集まらない」といった意見が得られれば、アンケートの深掘りにつながると思う。

【意見】高齢者クラブでは各クラブのリーダー的な方が参加されると思う。その方々に、参加者をどのように集めているのか、具体的な方法やノウハウを聞いてみたい。

（事務局）ヒアリング当日は事前質問票の内容だけで終わるのではなく、話の流れで他の意見も伺う予定。高齢者クラブに対しては、参加状況や人を集める方法などについても聞きたい。

【意見】ヒアリングはアンケート調査結果の確認と関連事項を聞くべきであり、全く異なることを聞いてしまうと調査の方向がずれてしまう。

個人的には、防災意識の低さや知識不足が気になる。岐阜県では民生委員が一人暮らしの家を巡回し、家具の固定状況を確認する取り組みがある。これにより生き埋めになる人が減り、救出活動の負担も軽減される。他にもスマホ教室の開催、道路の暗い箇所の点検、病院への自治区活動情報の掲示など、事業の案は多様にある。

次年度以降、美里地域会議が対策を進めるための材料をヒアリングで得る必要があり、その意識を全員で共有すべきである。

【意見】今回は精力的に活動されている方のお話を伺う機会であるが、活動に消極的な方のお話も聞ける機会があるとよい。高齢者は年齢によって考え方が大きく異なるため、その点を踏まえてヒアリングを実施してほしい。

(事務局) 今回のヒアリングの主目的はアンケート調査の深掘りであるため、話が大きく逸れそうな場合は司会進行の株式会社サーベイリサーチセンターや事務局が適切に誘導する。

また、ヒアリング参加者の意見が美里地区全体の意見ではないことを念頭に置き、地域で活動されている方の意見を伺う。

【意見】「困っていることはあるか」という質問に対し「いいえ」という回答が多かったが、漠然とした聞き方ではそう答える人が多いと思う。今は困っていなくても、将来困ることを想定している方もいるため、そうした聞き方をするとよい。

【意見】「困っていることはあるか」という質問に対し「いいえ」という回答が多かったことについてどう思うか、という質問は何を聞きたいのか。

(事務局) この質問を設定した意図は、事務局として「困っていることはあるか」に対してここまで「いいえ」が多いとは想定していなかった点にある。アンケートで「いいえ」と回答した人も、直接話を聞くことで「実は困っていることがある」といった意見が得られる可能性がある。その結果、本当に困っていないのであれば、それも一つの結果として捉えられる。テーマが絞られた設問よりも、漠然とした設問を深掘りするべきと考えた。

【意見】ヒアリング終了後に事前質問票を回収するのであれば、回答者にはある程度しっかり記入してもらう必要があるが、現状の質問票では難しいと思う。回答例をもっと分かりやすくした方がよい。

【意見】回答例を分かりやすくするのはよいが、回答を誘導する形になってはいけない。

(事務局) 現状の回答例は具体的な一つの回答を記載しているが、「今の生活で困っていることや、今後困りそうなこと」といった回答の方向性を示す記載に変更する。

5 高齢者実態調査 委員のヒアリング参加日程説明

ヒアリングの日程、参加団体、各委員の参加日について記載した資料を配布した。

6 事務連絡

(1) 美里ふれあいフェスタでのPR展示結果報告

令和7年11月2日(日)に実施した美里ふれあいフェスタにおける美里地域会議のPR展示及び認知度調査アンケートについて、252件の回答があったこと、アンケート結果は今後の地域会議運営に活用していく旨を報告した。

(2) 意見交換会チラシ（完成版）の配布について

美里地区高齢者実態調査の意見交換会チラシについて、前回の地域会議で出た意見を参考に事務局で完成版を作成し、委員へ配布した。

(3) 情報誌「クローバー」の配布について

豊田市ジェンダー平等推進センターからの依頼により、情報誌「クローバー」を委員へ配布した。

(4) 第9回美里地域会議について

- ・日時 令和7年12月11日（木） 19時～
- ・場所 美里交流館 多目的ホール
- ・内容 ヒアリング調査進捗報告、意見交換会準備